

プラン名

「魅力ある農業を目指し、
白ねぎ栽培へチャレンジ」

○葉たばこ栽培との併作で安定的な農業経営の構築

申請者 東伯郡北栄町

脇坂正則 順

1. はじめに

私は、葉たばこ専業農家として、後継者である長男

と家族で営農をしています。

葉たばこ栽培は父母が昭和31年から始め今年で56年になります。

現在、葉たばこ耕作者を取り巻く環境は厳しく、喫煙による健康問題、たばこ税増税等で喫煙者は年々減る傾向にあり、たばこの売り上げは年々減少しております。

また、昨年、JTが葉たばこ廃作募集を行い、全国で約半数の廃作者があり、ますます将来における葉たばこ栽培への不安を感じています。

引き続き葉たばこ栽培をしながら、新たな栽培品目にチャレンジし、魅力ある農業経営を目指し、安定的な収入を確保したいと考えていたとき、葉たばこ栽培の農閑期の秋・冬に収穫できる秋冬ねぎ栽培が適しているのではないかと考え、今年より秋冬ねぎ栽培を始めることとしました。

先々、葉たばこの減反に備えもう一つの柱となる耕作品目としたいと考えています。

栽培技術を身に付けよりよい品質の白ねぎを出荷し、魅力があり、やりがいのある農業経営を目指したいと考えます。

また、北条砂丘地でも近年増え続けている遊休農地を借り受け微力ではありますが、その解消の一助になりたいと考えております。

2. 農業経営の現状

(1) 耕作面積 (平成23年)

| 経営耕地 | 区分 | 面積 | 備考 |
|------|----|-------|------------------------|
| 所有地 | 田 | 90 a | 営農組合で水稲栽培、労力はパレタと人夫で出役 |
| | 畑 | 173 a | 葉たばこ(167a), らっきょう(6a) |
| 借地 | 田 | a | |
| | 畑 | 15 a | 葉たばこ (15a) |
| 合計 | 田計 | 90 a | |
| | 畑計 | 188 a | |
| | 計 | 278 a | |

(2) 経営規模 (平成23年)

| 作目 | 水田 | 畑 (施設) | 畑 (露地) | 計 |
|-------|------|--------|--------|-------|
| 葉たばこ | | | 182 a | 182 a |
| らっきょう | | | 6 a | 6 a |
| 水稲 | 90 a | | | 90 a |
| 計 | 90 a | | 188 a | 278 a |

作業受託 (水稲オペレータ) 下神地区水田生産組合

(3) 労働力 (平成 23 年)

| 区分 | 年齢 | 年間従事日数 |
|----|----|--------|
| 本人 | | 174 日 |
| 長男 | | 166 日 |
| 妻 | | 125 日 |
| 妹 | | 125 日 |
| 合計 | | 590 日 |

3. プランの目標

秋冬ねぎをもう一つの柱となる栽培品目としたいと考えています。機械化により効率の良い作業で楽しくやりがいのある農業を目指します。

研修会へ積極的に参加し栽培技術を習得し品質の良い商品の生産に努力、総販売額 1,000 万円以上を目指します

(単位：a、千円)

| | | H23 年 | H24 年 | H25 年 | H26 年 |
|------|------|-------|-------|-------|-------|
| 葉たばこ | 栽培面積 | 182 | 182 | 182 | 182 |
| | 販売額 | 7,845 | 8,000 | 8,000 | 8,000 |
| 秋冬ねぎ | 栽培面積 | 0 | 15 | 25 | 35 |
| | 販売額 | 0 | 1,000 | 1,900 | 2,900 |

4. 現状の課題と改善内容

(1) 栽培管理 → 機械導入

秋冬ねぎ栽培は今年 15 a でスタートしますが、3 年後には 35 a を栽培目標とします。8 月までは葉たばこの作業と重なりますが、除草等圃場管理には気を配っていきます。3 年後には 2,800 ケース (10a 当たり 800 ケース) の出荷を予定しています。葉たばこの作業と重ならないように作業の効率を考えると、機械の導入は必須であると考えます。品質の良い白ねぎの生産を目指します。

(2) 栽培技術・方法の確立

今年初めての栽培で分からないことばかりですが、栽培講習会の参加、地元のねぎ生産者、白ねぎ生産組合、農協、農業改良普及所からの指導を仰ぎ栽培技術を身につけ、平成 24 年は 1,000 千円 (10a あたり 670 千円)、平成 25 年には 1,900 千円 (10a あたり 760 千円)、平成 26 年には 2,900 千円 (10a あたり 830 千円) の売上高を目指します。

(3) 遊休農地の解消

今年秋冬ねぎを作付けした 15 a は借地です。うち 10 a は耕作放棄地でした。長い間せいたかあわだちそうが生い茂り、空き缶、ガラス瓶が捨てられひどい状態でした。

借地と隣でしたので 3 年前地権者に依頼されトラクターで耕運してきました。ガラス瓶が割れ、ガラスの破片があり危険な圃場でした、大分取り除いてきましたが現在も作業中に出てきますので少しずつ取り除いております。

ようやく今年栽培の出来る状態になり秋冬ねぎを植えることが出来るようになりました。2 年後には後 20 アール借地に白ねぎを栽培する予定で、遊休農地の解消の一助になればと考えております。

5. 具体的な取り組みと役割分担

| 内容 | H24 | H25 | H26 | 実施主体 | 支援期間 |
|----------------------|-----|-----|-----|------|------------|
| 認定農業者の取得 | ○ | | | 本人 | 北栄町 普及所 |
| 白ねぎ機械の導入 | ◎ | | | 本人 | 県・町 |
| 秋冬ねぎ栽培面積の拡大 | | ○ | ○ | 本人 | J A・普及所 |
| 遊休農地の利用 | | ○ | ○ | 本人 | 農業委員会 |
| 現地指導会への参加 栽培技術の向上 | ○ | ○ | ○ | 本人 | J A・普及所 |

6. 支援事業の内容

(単位：円)

| 年度 | 項目 | 事業費 | 負担区分 | | |
|----|----------------|-----------|---------|---------|---------|
| | | | 県 | 町 | 本人 |
| 24 | 管理機 KRD606N | 300,000 | | | |
| | 土揚げ爪 KP250A-6P | | | | |
| | 掘取機 5NK | | | | |
| 24 | 播種機 CP5 点セット | 62,200 | | | |
| 24 | コンプレッサー G22K-1 | 613,400 | | | |
| | 皮はぎ機 MT-1D | | | | |
| 24 | ひっぱり君 | 94,700 | | | |
| | 合計 | 1,070,300 | 356,766 | 178,383 | 535,150 |